

どんな過去があろうとも必死に頑張ればまだ間に合う

経済学部経済学科 中田将悟
(高知中央高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

高校では、ひたすらラグビーに打ち込んでいました。結果、全国大会出場など一定の成果を残すことはできましたが、勉強面では自慢できるようなことは何もありませんでした。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

大学でもラグビーを続けるという選択肢もありましたが、トップレベルで活躍するには限界があると感じ、これまで避けてきた勉強に真剣に取り組んでみようと考えていました。指定校推薦での大学入学を目指す中、上級キャリアコースの存在を知りましたが、HPには体育会のノリであること、高校までは運動部に所属していたが大学では勉強に打ち込みたい者を歓迎すること、良好な学業・就活実績を挙げ続けていることなどが記されていました。自身にぴったりだと思い、コース選抜に挑み合格しました。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

高校で十分に勉強してこなかったためか、かなり厳しかったです。1年生のときから常に成果を求められ、学年が上がるほど要求水準は高まります。テスト結果は基本的に全面公開されますので、誰が頑張っていて、誰がそうでないのかが一目瞭然です。また、勉強面だけではなく基本的なマナーなどについてもかなり事細かく注意・指導されますが、この点は部活での経験を活かして乗り切ることができました。

勉強が苦手な私でしたが、最後までやり遂げることができたのはもちろん、ERE(経済学検定)ではAを達成することもできました。多分、「大学がラストチャンス」と覚悟し4年間をコースでの学習・自己研鑽に打ち込んだおかげだと思います。

なお、学業成績や受講態度などが良好でない場合は、コースからの離脱が勧告されます。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

変なプライドを持たず、仲間を巻き込みながら目標に邁進できる人だと思います。また、そのためには、率先して行動できることや情報共有ができることもとても重要です。私もそうでしたが、体育会出身者が得意とする項目かなと思います。一方で、何かという言い訳をするタイプ、いわれないと行動しないタイプ、覇気が無い者は上級キャリアコースにはまったく向いていません。

5. 上級キャリアコースの強みは？

学業面やマナー面などについて、普段から高い水準を要求される結果として、それが当

たり前だと思えるようになります。結果、自分では普通のことを行っているつもりでも、就活などでは大いに評価されるケースが私自身しょっちゅうありました。人によっては、就活は辛いもののようなのですが、上級キャリアコースの学生の多くは楽しみながら就活に取り組んでいます。もちろん、その成果は相当に良好なものです。私を含めた多くの者が口にするのは、「上位校に入学できていたとしても、今以上の就職成果は実現できていなかっただろう」ということです。コースの就活実績をみてもらえば、納得してもらえらると思います。

6. 担当教員の大谷教授ってどんな人？

当初は、理不尽な人だと思っていました。ですが、それは自身の大人としての常識レベルがあまりに低いことに起因したものであったのです。見方を変えると、先生の指導を通じて、常識レベルが大幅に改善されたといえるでしょう。

また、厳格な人ではありますが、頑張る者にはとことん寄り添う熱い心の持ち主でもあります。実際、夏休みや春休みを含めて週1、2回、我々学生のために無料課外講義を実施してくださっており、ほぼ100%の上キャリ生が参加しています(参加は任意ですが、ここで本気度がチェックされます)。さらには、私が交通事故にあったときの対応やベトナム研修で後輩が体調不良になったときの対応を振り返ると、人間としての最低限の優しさは兼ね備えているようです(笑)。